

# 仕 様 書

仕様書番号	第 2 号					番号	
作成担当部課	総務部管理課	管理課長	営繕班長	電気係長	施設管理	企管係長	企管係
作成者氏名	朝比 武						
作成年月日	令和6年11月25日						

1 件名  
水源地使用電気料

2 概要

- (1) 需要場所
  - ア 陸上自衛隊武器学校 水源地 (2回線)  
茨城県稲敷郡阿見町阿見2081
  - イ 陸上自衛隊武器学校 ポンプ室 (2回線)  
茨城県稲敷郡阿見町阿見2064-2
- (2) 業種及び用途  
官公署 (国家事務)

3 仕様

(1) 各供給電気方式、供給電圧、計量電圧、標準周波数及び契約種別

ア 陸上自衛隊武器学校 水源地 (2回線)

供給電気方式	交流三相3線式	交流単相2線式
供給電圧 (標準電圧)	200ボルト	100ボルト
計量電圧 (標準電圧)	200ボルト	100ボルト
標準周波数	50ヘルツ	50ヘルツ
契約種別	低圧動力 17kw	従量電灯 10A

イ 陸上自衛隊武器学校 ポンプ室 (2回線)

供給電気方式	交流三相3線式	交流単相2線式
供給電圧 (標準電圧)	200ボルト	100ボルト
計量電圧 (標準電圧)	200ボルト	100ボルト
標準周波数	50ヘルツ	50ヘルツ
契約種別	低圧動力 17kw	従量電灯 5A

(2) 使用期間

自 令和7年4月1日00:00 至 令和8年3月31日24:00

(3) その他

- ア 電力の調達に係る契約については、「国及び独立行政法人等における温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約の推進に関する基本方針」(令和4年2月25日閣議決定) 2. (1)にいう裾切り方式とする。
- イ 供給電力の種類等(再生可能エネルギー)については、「RE100 TECHNICAL CRITERIA」を満たす再生可能エネルギーを供給することとし、その電力は再生可能エネルギー比率100%とすること。(別紙1)
- ウ 再生可能エネルギーに関する確認資料として、供給する電力量に占める再生可能エネルギー電気比率について確認できる資料を書面で提出すること。(別紙2)
- エ 毎月各契約回線毎の検針票を官側に送付すること。

## 月別実績使用電力量

(令和5年11月～令和6年10月)

17KW(水源地)

月 \ 項目	使用電力量 (kwh)	その他季節間時間電力量 (kwh)	夏季季節間時間電力量 (kwh)
11	74kwh	74kwh	
12	53kwh	53kwh	
1	73kwh	73kwh	
2	60kwh	60kwh	
3	109kwh	109kwh	
4	108kwh	108kwh	
5	104kwh	104kwh	
6	109kwh	85kwh	24kwh
7	106kwh		106kwh
8	102kwh		102kwh
9	111kwh	24kwh	87kwh
10	106kwh	106kwh	
合計	1,115kwh	796kwh	319kwh

## 月別予定使用電力量

(令和7年4月～令和8年3月)

17KW(水源地)

月 \ 項目	使用電力量 (kwh)	その他季節間時間電力量 (kwh)	夏季季節間時間電力量 (kwh)
4	113kwh	113kwh	
5	109kwh	109kwh	
6	114kwh	89kwh	25kwh
7	111kwh		111kwh
8	107kwh		107kwh
9	116kwh	25kwh	91kwh
10	111kwh	111kwh	
11	105kwh	105kwh	
12	105kwh	105kwh	
1	105kwh	105kwh	
2	105kwh	105kwh	
3	105kwh	105kwh	
合計	1,306kwh	972kwh	334kwh

## 月別実績使用電力量

(令和5年11月～令和6年10月)

17KW(ポンプ室)

月	項目	使用電力量 (kwh)	その他季節間時間電力量 (kwh)	夏季季節間時間電力量 (kwh)
11		9,538kwh	9,538kwh	
12		7,387kwh	7,387kwh	
1		3,485kwh	3,485kwh	
2		3,363kwh	3,363kwh	
3		3,012kwh	3,012kwh	
4		2,658kwh	2,658kwh	
5		3,331kwh	3,331kwh	
6		4,011kwh	3,079kwh	932kwh
7		4,040kwh		4,040kwh
8		3,836kwh		3,836kwh
9		4,716kwh	893kwh	3,823kwh
10		3,879kwh	3,879kwh	
合計		53,256kwh	40,625kwh	12,631kwh

## 月別予定使用電力量

(令和7年4月～令和8年3月)

17KW(ポンプ室)

月	項目	使用電力量 (kwh)	その他季節間時間電力量 (kwh)	夏季季節間時間電力量 (kwh)
4		2,791kwh	2,791kwh	
5		3,498kwh	3,498kwh	
6		4,212kwh	3,233kwh	979kwh
7		4,242kwh		4,242kwh
8		4,028kwh		4,028kwh
9		4,952kwh	4,014kwh	938kwh
10		4,073kwh	4,073kwh	
11		3,660kwh	3,660kwh	
12		3,660kwh	3,660kwh	
1		3,660kwh	3,660kwh	
2		3,531kwh	3,531kwh	
3		3,163kwh	3,163kwh	
合計		45,470kwh	35,283kwh	10,187kwh

## 月別実績使用電力量

(令和5年11月～令和6年10月)

### 従量電灯B(10A)

月	項目	使用電力量 (kwh)		
11		0kwh		
12		0kwh		
1		0kwh		
2		0kwh		
3		0kwh		
4		0kwh		
5		0kwh		
6		0kwh		
7		0kwh		
8		0kwh		
9		0kwh		
10		0kwh		
合計		0kwh		

## 月別予定使用電力量

(令和7年4月～令和8年3月)

### 従量電灯B(10A)

月	項目	使用電力量 (kwh)		
4		0kwh		
5		2kwh		
6		0kwh		
7		0kwh		
8		0kwh		
9		0kwh		
10		0kwh		
11		0kwh		
12		0kwh		
1		0kwh		
2		0kwh		
3		0kwh		
合計		2kwh		

## 月別実績使用電力量

(令和5年11月～令和6年10月)

### 従量電灯A(5A)

月	項目	使用電力量 (kwh)		
11		6kwh		
12		6kwh		
1		6kwh		
2		6kwh		
3		6kwh		
4		6kwh		
5		6kwh		
6		6kwh		
7		6kwh		
8		6kwh		
9		6kwh		
10		6kwh		
合計		72kwh		

## 月別予定使用電力量

(令和7年4月～令和8年3月)

### 従量電灯A(5A)

月	項目	使用電力量 (kwh)		
4		6kwh		
5		6kwh		
6		6kwh		
7		6kwh		
8		6kwh		
9		6kwh		
10		6kwh		
11		6kwh		
12		6kwh		
1		6kwh		
2		6kwh		
3		6kwh		
合計		72kwh		

## 「RE100 TECHNICAL CRITERIA」の概要

「RE100 TECHNICAL CRITERIA (※)」において、再生可能エネルギー源と認められているのは、以下のものである。

- 1 バイオマス (バイオガスを含む)
- 2 地熱
- 3 太陽光
- 4 水力
- 5 風力

また、RE100 における再生可能エネルギー電力の調達方法は、下表のとおり定められている。記載のとおり、電気事業者から購入するほか、自家発電や電力証書の購入等も調達方法として認められている。なお、調達する再生可能エネルギー電力（電力証書を含む。）に付随する環境価値については、重複利用がなく、調達者単独の利用であると主張できることが必要となる。そのため、調達者は、電源情報とともに調達者へ環境価値を移転したこと及び第三者へ移転しないことの証明を電気事業者から得る必要がある。

表 RE100 における再生可能エネルギー電力の調達方法

<b>自家発電</b>
1. 企業が保有する発電設備による発電
<b>購入電力</b>
2. 企業の敷地内に供給者が設置した設備から購入
3. 企業の敷地外に設置した発電設備から専用線を経由して直接購入
4. 企業の敷地外にある系統に接続した発電設備から直接購入
5. 供給者（電気事業者）との契約（グリーン電力メニュー）
6. 環境価値を切り離した電力証書の購入

資料：RE100 TECHNICAL CRITERIA を基に作成

※ <https://www.there100.org/sites/re100/files/2021-05/RE100%20Technical%20Criteria%20Aug%202021.pdf>

特定電源割当証明書様式例

〇〇年〇月〇日

特定電源割当証明書

〇〇〇〇  
〇〇 〇〇 〇〇

〇〇県〇〇市〇〇  
株式会社〇〇〇〇  
代表取締役 〇〇 〇〇

〇〇年〇半期に以下の通り〇〇〇〇に電力を供給したことをここに証する。  
また、供給電量情報に記載の割当電力量に係る環境価値について、〇〇〇〇に移転したと、いかなる第三者にも移転されないことをここに証する。

1 顧客情報  
 顧客番号 〇〇〇〇  
 需要施設名 〇〇〇〇  
 需要施設住所 〇〇県〇〇市〇〇  
 契約電力 〇〇〇〇kW

2 供給期間  
 〇〇年〇月〇日～〇月〇日

3 再生可能エネルギー由来電力量の情報（各月の内訳は別紙のとおり）

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
再生可能エネルギー [A] (A)													
火力電力量 [B] (B)													
再生可能エネルギー [A/B] (A/B)													

【別紙】再生可能エネルギー由来電力量の内訳（〇月）

1 再エネ電気

供給元発電番号	住所	再生可能エネルギー源種別	割当電力量 (kWh)
〇〇発電所	〇〇県〇〇市〇〇	水力	〇〇
合計 (kWh)			

2 証書による環境価値移転量（環境価値を持つ証書を用いた電力メニューを提供する場合のみ記載）

供給元発電番号	住所	再生可能エネルギー源種別	環境価値移転	売買期間	買取単価
〇〇発電所	〇〇県〇〇市〇〇	水力	〇〇	〇年〇月〇日～〇年〇月〇日	
合計 (kWh)					
			合計 (kWh)		